

2020年2月25日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

ダウ平均(円ヘッジあり)への連動を目指す ETF を新たに設定

～ 3月18日東証上場、為替リスクを抑えながら主要な米国株式に投資するETFを実現～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」を対円で為替ヘッジして算出した指数への連動をめざす上場投資信託(ETF)「上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均) 為替ヘッジあり」(愛称:上場ダウ平均米国株(為替ヘッジあり)、証券コード:2562)を新たに設定し、東京証券取引所に上場します。ファンドの設定は3月13日、上場は3月18日の予定です。



「上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均) 為替ヘッジあり」は、米国の株式市場の動きを表す代表的な株価指数である「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」(以下、「ダウ平均」)の米ドル建ての値を基に対円で為替ヘッジして算出した指数(円ベース)への連動をめざすETFです。当ETFは主に米国株式に投資するマザーファンドに投資します。ベビーファンドとなる当ETFでは主に為替ヘッジ取引を行いません。

日興アセットでは、円換算した米国株指数に連動するETFとして、現在運用中の「上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり」(愛称:上場 S&P500 米国株(為替ヘッジあり)) (証券コード:2521)がありますが、今回新たに設定するETFで連動対象とする「ダウ平均」は、「S&P500指数」に比べて指数値に馴染みがあり、構成銘柄の株価水準が分かりやすいのも特徴です。為替リスクを抑えながら、成長が期待できる米国株式に投資したいという、金融機関をはじめ多くの機関投資家および個人投資家の皆さまのニーズにもお応えしたものです。

◇ **東証に上場しているダウ平均に連動するETFの中で最も低い信託報酬料率(2020年1月末時点)**

信託報酬料率は、年率0.33%(税抜0.3%)に設定しており、売買単位は10口で、当初設定で1口おおよそ2,000円です。設定時の最低取引価格がおおよそ20,000円で、小口の売買が可能のため、投資家の皆さまにも、少額で資産運用や分散投資ツールとして活用いただけます。

◇ **ダウ平均を対象とした先物取引も可能なため、マーケットメイクがしやすく取引コストも低減**

日本で上場しているETFのため、取引時間中はダウ平均そのものの指数は動かないものの、ダウ平均の先物が取引されています。マーケットメイカーがダウ平均の先物取引を利用し、出来高が少ない場合でも常に売買に応じることで、円滑な取引が可能となります。そのため、流動性を確保し、取引コストを低く抑えやすいメリットがあります。

◇ **iNAV算出をして、価格における高い透明性を追求**

インディカティブNAV(以下、iNAV)を算出しており、リアルタイムで基準価額の推定値が計算されるため、取引価格におけるより高い透明性を追求しています。

また、「上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均)為替ヘッジあり」は、ETF を設定する際に金銭を拋出し、解約時には金銭を受け取る「金銭設定・金銭解約型」(金銭信託型)の ETF です。なお、当 ETF の決算日は、年 2 回(1 月と 7 月)で、1 年間に 2 回分配金をお受け取りいただける仕組みとなっています。

日興アセットはこれまでも、投資家のみなさまのニーズに合致したさまざまなタイプの ETF の開発に先駆的に取り組んでまいりました。今後もより一層の商品の充実に努め、幅広い投資機会をご提供してまいります。

以 上

■取引所における売買時のファンド概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／ETF／インデックス型
上場市場	東京証券取引所
上場日	2020年3月18日(予定)
銘柄コード	2562
取引所における売買単位	10口単位
信託期間	無期限(2020年3月13日設定)
決算日	毎年1月8日、7月8日
収益分配	信託財産から生ずる配当等収益から諸経費などを控除後の利子・配当等収益の全額を分配することを原則とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<取引所における売買時にご負担いただく費用>

- 売買手数料：取扱会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。
なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬(年率)：上限0.33% (税抜0.3%)
- その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場にかかる費用、標章の使用料および貸付有価証券関連報酬
(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、0.55(税抜0.5))を乗じて得た額)など※「その他費用」については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンド概要

〔直接ファンドに設定・交換を行なう場合のお取扱いです。取引所で売買をされる投資者のみなさまには該当いたしませんのでご注意ください。〕

取得・交換取扱時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。
申込価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
申込単位	5,000口以上で販売会社が定める単位 ※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金単位	5,000口以上1口単位 ※販売会社によって異なる場合があります。 ※保有する受益権口数が金融商品取引所の定める取引単位に満たない場合は、当該受益権の買取りの申込みができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<取得・換金時にご負担いただく費用>

- 申込手数料：販売会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。
- 換金手数料：販売会社は、受益者が解約請求を行なうとき、および受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料にかかる消費税等相当額を徴収することができるものとします。
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬(年率)：上限0.33% (税抜0.3%)
- その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場にかかる費用、標章の使用料および貸付有価証券関連報酬
(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、0.55(税抜0.5))を乗じて得た額)など※「その他費用」については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、市場取引価格または基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。金融商品取引所に上場され公に取引されますが、市場価格は、基準価額と変動要因が異なるため、値動きが一致しない場合があります。

■ その他留意事項

当資料は、投資者の皆様が弊社の運用する ETF についてのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当該ファンドをお申込みの際には、契約締結前交付書面などを十分にお読みください。

■ ダウ・ジョーンズ工業株価平均(TTM、円建て、円ヘッジ)について

「ダウ・ジョーンズ工業株価平均(TTM、円建て、円ヘッジ)」は、S&P Global の一部門であるまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが日興アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®および S&P®は、S&P Global の一部門である Standard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。「上場インデックスファンド米国株式(ダウ平均)為替ヘッジあり」は、SPDIJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、「ダウ・ジョーンズ工業 株価平均(TTM、円建て、円ヘッジ)」のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名^{*}の運用プロフェッショナルが約24.96兆円^{**}の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2019年9月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会